



SIGSS研究会報告

2018年7月18日～20日 in 帯広

宮崎 智紀 山崎 大輝 吉富 楓雅

会場



とかちプラザ

発表



質疑

- クリティカル？なコメント

- 2017年でコミッターと一般開発者が3人ずつでleave one outするのはデータ数が少なすぎ、トレンドがあるというのはいいすぎ

- コメント

- いつ適用するモデルなのか、何を目的に適用するモデルなのかを考えて
 - コミッターに昇格しているかの0, 1の予測は評価は厳しい
 - コミッターの素質はあるがコミッターになれない人の扱い方が変わってくる
- コミッターに昇格させるモチベーションとして、すごく忙しい時期だからもあるが、「既コミッターが働かなすぎる」ってのもあるかもしれない
- 他にもアンバランスデータを処理する手法があるので試してみても

特に興味を持った論文（宮崎）

要求文書からの信頼性要求の抽出と検証

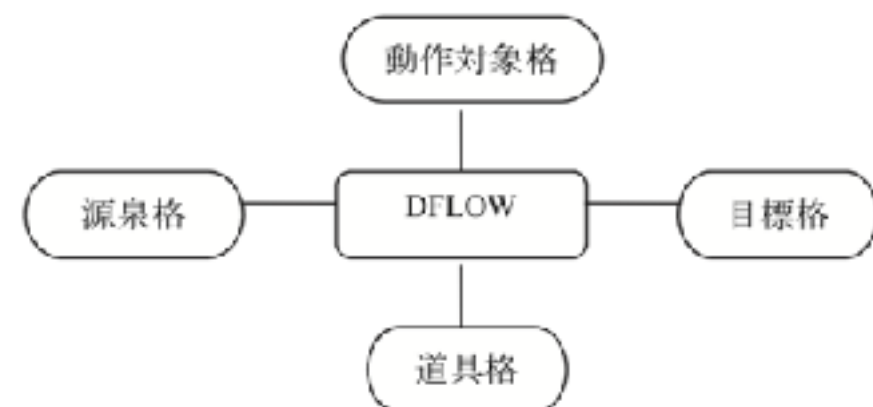
山田 さつき，大森 隆行，大西 淳（立命館大学）

- 文の構造を右下のフレームに割り当てて判別する
 - 単語の順序にも対応可能で，同じ内容を指す文を同一とみなす
- 「曖昧さ」も判別することも視野に

表5 本研究で採用した信頼性用語

Table 5 Proposed reliability terms.

ディペンダビリティ	MTBF	故障
ケーパビリティ	信頼性	停止
MTTFF	信頼度	障害
MTTF	適合性	復旧



特に興味を持った論文（宮崎）

メソッド入退出情報を利用した 階層的欠陥箇所特定支援手法

原口大和・野田訓広・小林隆志（東工大）

- ・ テスト結果を用いて欠陥箇所を予測する手法
 - ・ メソッドの呼び出し関係を考慮することで精度向上

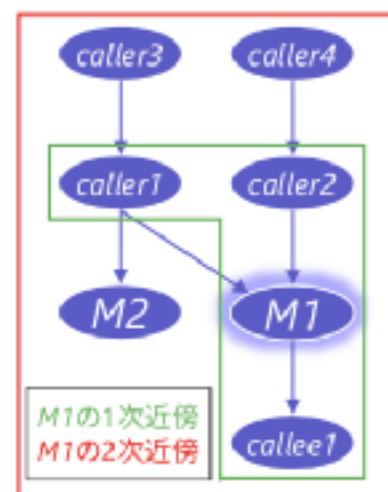


図2 メソッドの n 次近傍

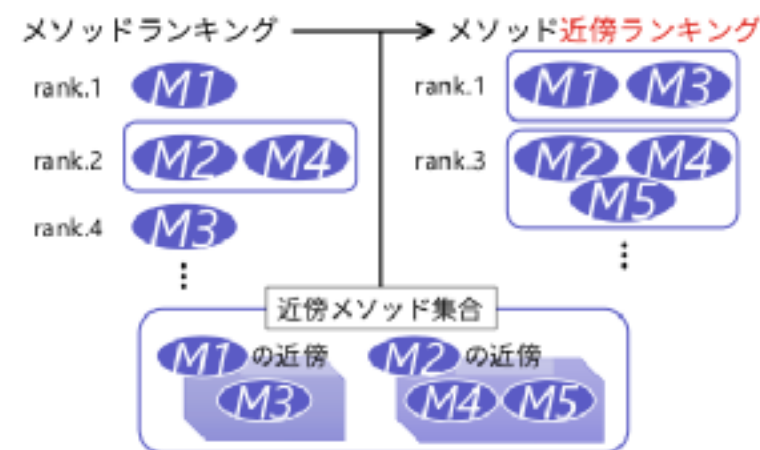


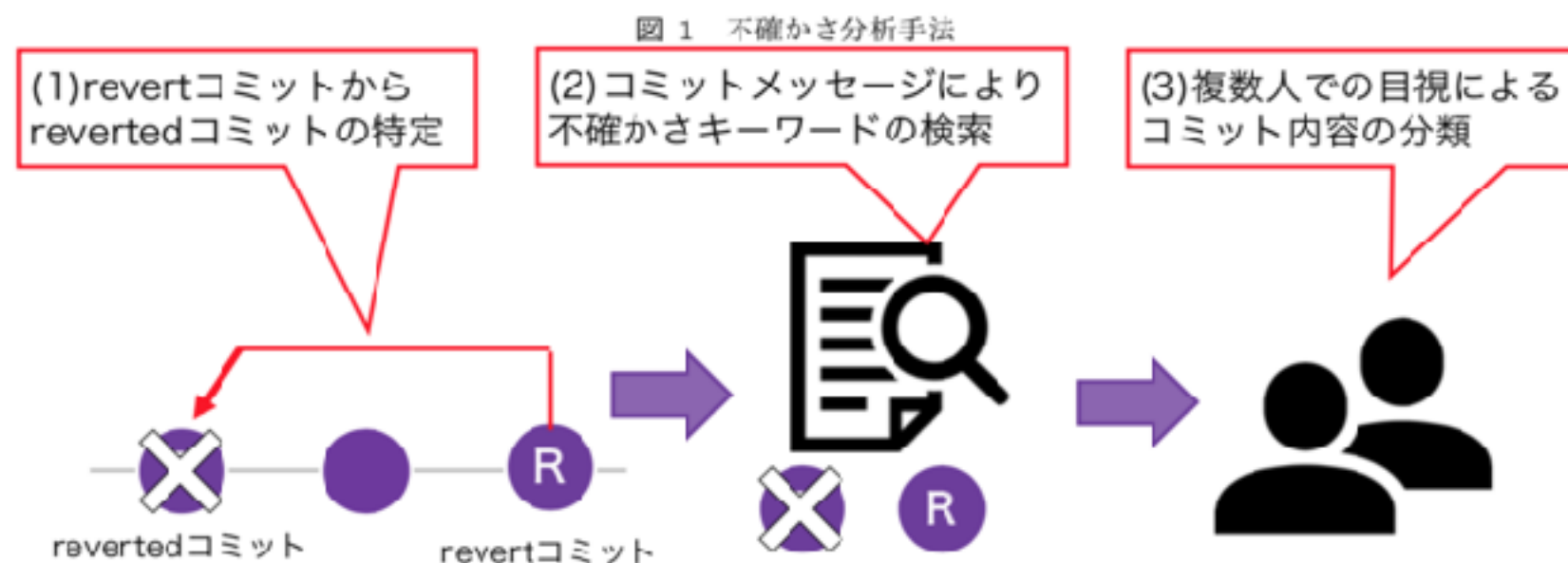
図3 メソッド近傍ランキング例

特に興味を持った論文(吉富)

不確かさに着目したrevertコミット分析

村岡 北斗 亀井 靖高 佐藤 亮介 鵜林 尚靖(九州大学)

- 過去のコミットを内容を打ち消すコミットをする機能であるrevertに関する不確かさに着目した実証研究
- (所感)Silent Horrorsと密接に関係していると思われる. またDerbyをデータセットにしていたので自身の研究に活かそう



特に興味を持った論文(吉富)

類似するコーディングパターンの利用状況調査ツールの提案

小笠原 康貴 神田 哲也 井上 克郎(大阪大学)

- 検索クエリに複数の検索ワードを記述し、各検索ワードに一致するか一致しないかによりコードをブロックを分別する検索の提案
- (所感) 2つの類似するコーディングについて、とあるSilent Horrorsが両方に存在する場合、これを検出する際に、片方のSilent Horrorsが発見できた場合、もう一つのSilent Horrorsが発見できる可能性がある

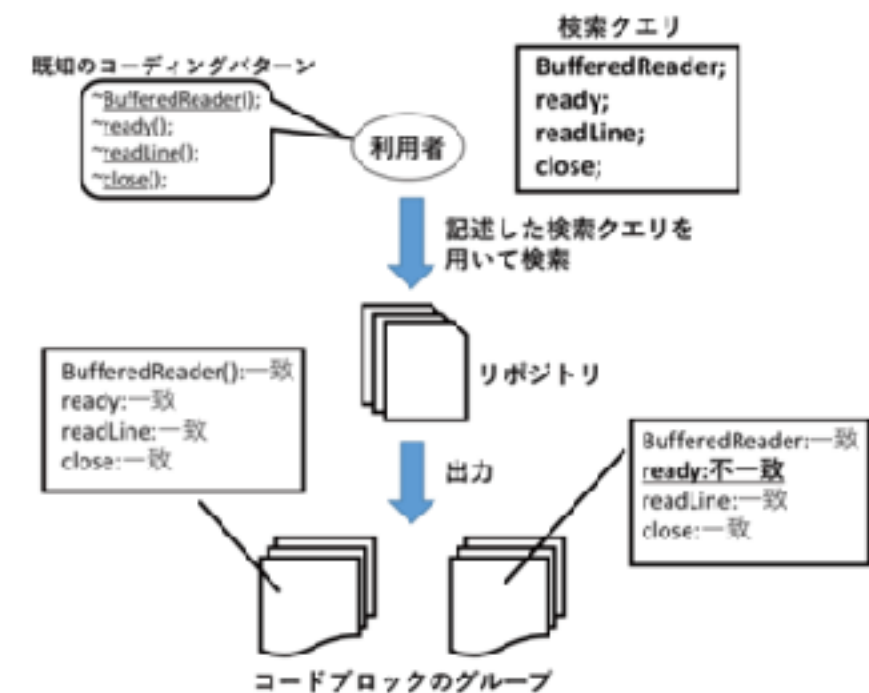


図 2 提案手法の利用方法



写真集

